

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	公民	科目	政治・経済(文系必修履修)	学年	3
担当者	女屋 隆充			単位数	2
使用教科書	高等学校 改訂版 政治・経済 新訂版 第一学習社				
使用教材	政治・経済資料2017(とうほう) ニューコンパスノート政治・経済2017(とうほう) センター攻略よくでる一問一答倫理、政治・経済(山川出版社)				
教科・科目の指導目標	学習指導要領における公民科及び科目「政治・経済」の目標に基づき、現代の政治、経済、国際関係に関する客観的見方や考え方を深めさせ、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者としての資質を養うことを主な目標とする。主権者教育やキャリア教育も取り入れつつ、自学自習できる教材の工夫や大学入試センター試験等の出題内容も踏まえた指導を行う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	民主政治の基本原理 日本国憲法の平和主義 日本国憲法と基本的人権	民主政治の基本原理について、問題演習を通して理解を深める。 各国の政治体制について、問題演習を通して理解を深める。 時事問題を日刊紙等を比較することで多面的に理解する。 平和主義について、問題遠隔等を通じて理解を深める。 今日の安全保障について、課題や動向等を報道の比較などを通して多面的に理解する。 憲法と基本的人権について、問題演習等を通して理解を深める。	12
6月7月	1学期期末考査	日本国憲法と基本的人権 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	代表的な判例学習等を通して基本的人権の理解を深める。 今日的な人権の課題を判例学習や報道の比較などを通して多面的に理解する。 日本の統治機構について、問題演習等を通じて理解を深める。 日本政治の今日的課題について、報道の比較などを通して多面的に理解する。 地方自治、選挙、政党政治などについて、問題演習等を通じて理解を深める。	12
7月10月	2学期中間考査	現代の国際政治 経済活動の意義と経済体制 現代経済のしくみ	今日の国際政治について、問題演習や報道比較などを通して理解を深める。 経済学の基礎的理論やしぐみを問題演習を通して理解する。 経済に関する基本用語や概念を問題演習を通して整理し理解する。 市場機構、国民所得、金融、財政などについて、基本事項を問題演習を通して理解する。 経済に関する現状と諸課題を報道の比較などをを通して、多面的に理解する。	14
10月12月	2学期期末考査	日本経済と福祉の向上 国民経済と国際経済	戦後日本経済のあゆみについて、問題演習を通して理解を深める。 日本経済における中小企業、農業、公害と環境保全、消費者、労働、社会保障制度などの現状と課題を理解する。 比較生産費説や外国為替の基本事項について、問題演習等を通して理解を深める。 戦後国際通貨体制や地域経済統合について、問題演習等を通して基本事項を理解を深める。 今日的な世界経済の課題を、報道の比較などを通して、多面的に理解する。	14
12月3月	学年末考査	現代社会の諸課題 1年間のまとめ	少子高齢社会、住民・国民の政治参加、労働格差などについて、問題演習を通して理解する。 地球環境問題、南北問題、先進国の責任などの課題について、報道の比較などを通して多面的に理解する。 1年間の学習をふりかえり、政治分野のまとめを行う。 1年間の学習をふりかえり、経済分野のまとめを行う。 1年間の学習をふりかえり、国際分野のまとめを行う。	18

評価の観点・方法	出欠状況、授業に取り組む意欲と態度、定期考査の状況、課題の提出状況と成果等を総合的に評価する。
----------	---